

多治見市陶磁器意匠研究所

Tajimi City Pottery Design and Technical Center

2025

研究生募集案内

(二次募集)



ishoken

Work by Ikushima Hana

多治見市陶磁器意匠研究所とは？

美濃焼の魅力を世界に向けて発信し、陶磁器産業に携わる人々や陶芸家を志す若者が世界中から集まる町を目指している多治見市は、岐阜県の南東部に位置するこの地方の主要都市であると同時に、近隣の土岐市や瑞浪市、可児市とともに美濃焼という日本最大の陶磁器生産地を形成しています。日本の陶磁器生産量の約半分を占める美濃焼の地で、多治見市陶磁器意匠研究所は前身の美濃焼上絵付研究所が昭和26年(1951年)に設立されて以来、70年以上にわたってやきものに携わる人財の育成に取り組んできました。1000名を越える卒業生の面々は、美濃焼業界をはじめ全国の陶磁器生産地や、さらには海外をフィールドとして、やきもののあらゆる分野で活躍しています。

多治見市陶磁器意匠研究所は、大学、短大、専修学校等各種学校とは異なる公設の試験研究機関です。そのため、カリキュラムの構成は独自性が高く、加えて日本最大の陶磁器生産地と直結しているメリットを最大限に生かすことで、伝統と現代性の両面においてリアリティのある研修を受けることができます。

また、昨年9月には陶芸分野で世界的に最も権威のある学術組織、国際陶芸学会(IAC)に法人会員として加盟し、世界に向けた発信や国内外でのやきもの関係者との交流も積極的に行なっています。

多彩な技術と知識の習得

現代の美濃焼は全国各地の陶磁器生産地の中でも、とりわけ多種多様な生産技術や様式を備えた地域です。品種は洋食器・和食器・タイルを中心に、土器・陶器・炆器・磁器と素材の幅が広く、伝統的な作品から現代陶芸にいたるまで、バリエーション豊富なやきものが作られています。このような生産地は世界的に見ても他に例がなく、現代の美濃焼を象徴する特色といえるでしょう。多治見市陶磁器意匠研究所では、こうした地域性をベースにして、多彩な技術と知識を習得するための研修課程と研修設備を用意しています。

新たな時代を切り開く創造力

やきものづくりを学ぶことについて「伝統的な技術の継承」というイメージを抱かれる方も多いでしょう。実際に現代の陶磁器の生産技術や芸術性は、過去の先人達の弛まぬ努力の積み重ねにほかなりません。多治見市陶磁器意匠研究所は、やきものの技術や知識を習得するだけでなく、それらを現代の視点であらためて見つめ直すことも大切にしています。研修課程に共通した方針は「やきものの特性を着実に踏まえつつ現代性を備えたやきもののあり方を探る」ことです。「オリジナリティーがあって、しかもやきものでしか表現できない」そんな作品を生み出す力を身につけて欲しいと考えています。



Course Outline

研修課程の3コース

デザインコースと技術コースは、どちらも2年間の研修課程です。1年目のカリキュラムは共通の実習と講義で構成され、やきもの作りの基礎的な知識と技術を学びます。その後、1年目の研修を終えた時点で、研究生の適性や希望に沿ってデザインコースあるいは技術コースのどちらかを選択します。2年目の研修では、応用制作課題と卒業制作を通して各々の進路を見据えた制作技術と創造力を養います。

セラミックスラボは、デザインコース・技術コースの上位に当たる1年間または2年間の研修課程で、やきもの作りの基礎的な知識と技術をすでに習得されている方を対象とします。また、デザインコース・技術コースを修了した方が引き続きセラミックスラボに進むこともできます。世界各地から研究テーマを持った研究生が集い、多様な価値観の中で創造する力を磨き、卒業後に国内外で活躍するための制作技術と創造力を養います。

デザインコース [2年間]

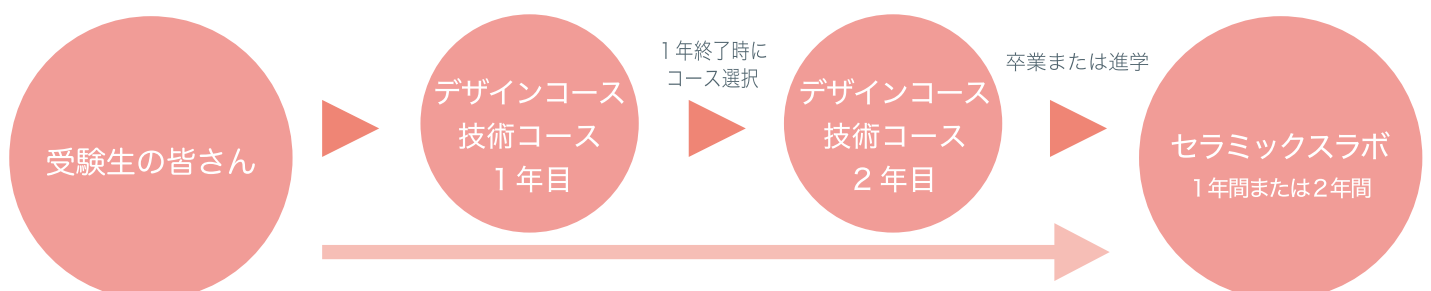
デザインコースは、使い手の想いや時代性を考え、やきものの魅力を活かした、私たちの生活をより一層楽しくする道具としての陶磁器制作を行います。

技術コース [2年間]

技術コースは、さまざまな素材の研究や技法の実践を通して、工芸的なアプローチでそれぞれの個性や表現による新しい陶磁器制作を行います。

セラミックスラボ通常選考 [1年間または2年間]

セラミックスラボは、研究生それぞれのテーマに沿って、1年間（引き続き1年を上限として延長も可能）じっくりと制作・研究を深く掘り下げながら、世界を舞台に活動するための陶磁器制作を行います。



Curriculum

AM 9:00 -12:00 / PM 1:00 - 16:00

Monday - Friday

デザインコース 技術コース 1年目

- ・成形技術実習
手びねり、タタラ作り等の成形技術
- ・ロクロ成形実習
数挽きを中心にしたロクロ成形技術
- ・石膏成形実習
石膏の成形方法、型作り、鑄込み
- ・絵付実習
運筆、上絵付、下絵付技法
- ・デザイン基礎（選択授業）
パソコンを使ったグラフィックデザイン
- ・デジタルモデリング実習（選択授業）
デジタル造形機器を活用した実習
- ・陶磁器概論
陶磁器とデザインに関する歴史・知識の講義
- ・釉薬実習
釉薬調合に関する基礎知識の講義と実習
- ・焼成実習
ガス窯焼成に関する基礎知識の講義と実習
- ・進級制作

※ 例として2023年度の研修科目を掲載しています。
研修科目の内容は変更する場合があります。

デザインコース

- ・デザイン実習（制作）
我々の暮らしを豊かにするための
デザインの視点に基づいた陶磁器の作品制作

技術コース

- ・成形技術実習（制作）
素材の研究と技法の実践を通じた工芸的アプローチによる
陶磁器の作品制作

2年目共通

- ・卒業制作
課題制作と各自の研究テーマによる自主制作

デザインコース 技術コース 2年目

前期制作

各自の研究テーマによる作品制作と
研究成果の展示発表

卒業制作

各自の研究テーマによる自主制作

セラミックスラボ 1年間または2年間

全クラス 共通

・特別講義、特別実習

所内外講師によるスライドレクチャーや実習

・公開特別講義

ishoken gallery 講師や所内外講師による公開特別講義

保有設備

やきものに関する幅広い技術に対応した設備と機材を備えています。

1.0m ³ 台車式ガス窯	1基	石膏真空攪拌機	1台
0.4m ³ 台車式ガス窯	1基	釉薬吹付ブース	1台
30kw台車式電気窯	1基	ポットミル	5台
20kw上蓋式電気窯	2基	実習用コンピューター	6台
15kw上蓋式電気窯	1基	造形用3Dプリンター	1台
10kw上蓋式電気窯	1基	3Dスキャナー	1台
5kw上絵用電気窯	1基		
電動ロクロ	30台		
真空土練機	2台		
泥漿攪拌機	2台		
石膏ロクロ	10台		

Equipments

Public Lecture

公開特別講義

幅広い分野の講師による
スライドレクチャーです。

講義は一般の方にも公開しています。



公開特別講義 vol.58 2023年6月30日
「本当の美濃焼を知る」
立花 昭
岐阜県現代陶芸美術館 学芸員



公開特別実習 vol.60 2023年9月16日
「陶芸を生業とすると言う事」
大江 憲一
陶芸家



公開特別講義 vol.61 2023年10月20日
「走泥社再考展を企画して」
大長 智広
京都国立近代美術館 主任研究員

過去の公開特別講義 講師一覧

※ 外部講師の所属等は講演当時のものになります。

vol.01	中島 晴美	陶芸作家、多治見市陶磁器意匠研究所 所長
02	新里 明士	陶芸作家
03	酒井 博司	陶芸作家、土岐市立陶磁器試験場・セラテクノ 場長
04	加藤 亮太郎	陶芸作家、株式会社幸兵衛窯 社長
05	唐澤 昌宏	東京国立近代美術館 工芸課長
06	山下 奈穂	陶磁器デザイン、多治見市陶磁器意匠研究所 職員
07	駒井 正人	陶芸作家、多治見市陶磁器意匠研究所 職員
08	中濱 有紀	陶芸作家、多治見市陶磁器意匠研究所 職員（当時）
09	土井 洋佑	陶芸作家、多治見市陶磁器意匠研究所 職員
10	金島 隆弘	「アート北京」アートディレクター、一般社団法人 芸術と創造 代表理事
11	柴田 正太郎	株式会社深山 取締役、陶磁器デザイナー
12	森 綾	陶芸作家、愛知教育大学 非常勤講師
13	松永 圭太	陶芸作家
14	高橋 秀治	岐阜県現代陶芸美術館 館長
15	佐々木 雅浩	ガラス作家、愛知教育大学 准教授
16	石塚 晋一	多治見市陶磁器意匠研究所 職員（現副所長）
17	前田 剛	多治見市陶磁器意匠研究所 副所長（当時）
18	菊本 愛生	多治見市陶磁器意匠研究所 職員
19	水野 義久	多治見市陶磁器意匠研究所 職員
20	桑田 卓郎	陶芸作家
21	加藤 孝造	国指定重要無形文化財「瀬戸黒」保持者
22	松村 淳	陶芸作家
23	加藤 智也	陶芸家、山只華陶苑 藤兵衛窯七代目
24	高橋 秀治	岐阜県現代陶芸美術館 館長
25	榎本 徹	岐阜県現代陶芸美術館 顧問
26	唐澤 昌宏	東京国立近代美術館 工芸課長
27	林 いづみ	岐阜県現代陶芸美術館 学芸員
28	柳井 友一	セラミックアーティスト、デザイナー、secca inc.
29	高橋 秀治	岐阜県現代陶芸美術館 館長
30	藤田 篤実	現代美術仲間 ディレクター
31	平井 智	陶芸家
32	拝戸 雅彦	愛知県美術館 企画業務課長
33	深井 桂子	Keiko Art International 代表
34	若杉 聖子	陶芸家、京都市立芸術大学 美術学部講師
35	高橋 秀治	岐阜県現代陶芸美術館館長
36	伊藤 嘉章	愛知県陶磁美術館 総長、町田市立博物館 館長
37	馬場 康貴	陶芸家
38	佐々木 雅浩	ガラス作家、愛知教育大学 教授
39	川端 健太郎	陶芸家
40	高橋 秀治	岐阜県現代陶芸美術館 館長
41	伊藤 嘉章	愛知県陶磁美術館 総長、町田市立博物館 館長
42	森野 彰人	陶芸家、京都市立芸術大学 教授
43	藤田 篤実	現代美術仲間 ディレクター、Sokyo Lisbon 代表取締役
44	石塚 晋一	多治見市陶磁器意匠研究所 職員（現副所長）
45	榎本 徹	岐阜県現代陶芸美術館 顧問
46	戸出 雅彦	陶芸家、金沢卯辰山工芸工房 講師
47	竹内 紘三	陶芸家
48	外館 和子	多摩美術大学 教授、工芸史家
49	新里 明士	陶芸家
50	酒井 博司	陶芸家
51	石崎 泰之	岐阜県現代陶芸美術館 館長
52	猪倉 高志	陶芸家
53	佐藤 雅之	陶芸家、茨城県立笠間陶芸大学校 特命教授
54	正村 美里	岐阜県美術館 副館長兼学芸部長
55	荻野 由梨	多治見市陶磁器意匠研究所 職員
56	杉山 道夫	一般社団法人シガラキ・シェア・スタジオ代表、公益財団法人滋賀県陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス・アドバイザー
57	青木 宏	陶芸家、とこなめ陶の森 陶芸研究所 職員
58	立花 昭	岐阜県現代陶芸美術館 学芸員
59	入澤 聖明	愛知県陶磁美術館 学芸員
60	大江 憲一	陶芸家
61	大長 智広	京都国立近代美術館 主任研究員
62	折出 健二	愛知教育大学 名誉教授
63	今井 裕一	多治見市市民病院 病院長、愛知医科大学 名誉教授

出身学校の傾向と卒業後の進路

過去5年の出身校属性

単位/人 デザインコース・技術コース63～67期生、セラミックスラボ18～22期生

デザインコース・技術コース研究生

美術系の大学卒業者	34
美術系の短期大学・専門学校卒業者	4
美術系以外の大学卒業者	17
美術系以外の短期大学・専門学校卒業者	5
高等学校卒業者	12
合計	72

セラミックスラボ研究生

美術系の大学(大学院も含む)卒業者	11
美術系の短期大学・専門学校卒業者	0
美術系以外の大学(大学院も含む)卒業者	7
美術系以外の短期大学・専門学校卒業者	0
意匠研究所卒業者	17
高等学校卒業者	1
合計	36

過去5年の卒業生の進路

単位/人 デザインコース・技術コース61～65期生、セラミックスラボ17～21期生

デザインコース・技術コース卒業生

陶磁器メーカー・商社に就職	11
その他の陶磁器関連企業に就職	7
他業種で働きながら作家活動	1
アルバイトをしながら作家活動	10
セラミックスラボへ進学	11
他校へ進学	1
異業種・その他	3
合計	44

セラミックスラボ卒業生

陶磁器メーカー・商社に就職	4
その他の陶磁器関連企業に就職	7
他業種で働きながら作家活動	0
アルバイトをしながら作家活動	17
セラミックスラボ養成期間延長	6
他校へ進学	3
異業種・その他	2
合計	39

地域別進路

美濃焼産地(多治見・土岐・瑞浪)	57
美濃焼産地以外(国内)	19
海外	7
合計	83

過去5年の出身校一覧

[美術系の大学]

愛知県立芸術大学、秋田公立美術大学、沖縄県立芸術大学、金沢美術工芸大学、京都芸術大学、京都市立芸術大学、京都市立芸術大学大学院、京都精華大学、神戸芸術工科大学、静岡文化芸術大学、女子美術大学、多摩美術大学、多摩美術大学大学院、東京藝術大学大学院、東北芸術工科大学名古屋学芸大学、名古屋芸術大学、武蔵野美術大学、ベオグラード芸術大学、ベオグラード芸術大学大学院

[美術系の短期大学・専門学校]

京都府立陶工高等技術専門学校、名古屋コミュニケーションアート専門学校、香ヶ丘リベルテ高等学校、トライデントデザイン専門学校

[美術系以外の大学]

愛知教育大学大学院、学習院大学、カールトン大学、九州産業大学、グラナダ大学、京都大学、金城学院大学、シュ・ド・コム・リオンビジネススクール、スウェーデン農業大学、スタッフフォードシャー大学、昭和女子大学、中央大学、中部大学、筑波大学、東海大学、東北生活文化大学、東洋大学、奈良教育大学、一橋大学、別府大学、北海道大学、香港教育大学、香港中文大学、輔仁大学、立教大学、ロンドン大学

[美術系以外の専門学校]

東京スクールオブミュージック専門学校、豊田工業高等専門学校、日本美容専門学校、ポラリス保健看護学院、大原簿記情報ビジネス医療専門学校

[高等学校]

有田工業高等学校、浦添工業高等学校、加賀聖城高等学校、信楽高等学校、瀬戸工科高等学校、瀬戸西高等学校、長崎日本大学高等学校、福岡魁誠高等学校、北海道おといねっぶ美術工芸高等学校、港高等学校、ルネサンス豊田高等学校、若葉総合高等学校

過去5年の就職先一覧(非常勤を含む)

[陶磁器メーカー・商社]

(株)幸兵衛窯、(有)小袋製陶所、杉江製陶株式会社(株)蔵珍窯、(有)百草、(株)山秀、(業)アイカ、(株)カネコ小兵製陶所、カネ定製陶(株)、宮公製陶所、マスターズクラフト(株)、セラリーナ工房 吉川整型所

[その他の陶磁器関連]

岐阜県現代陶芸美術館、(株)共栄電気炉製作所、多治見市陶磁器意匠研究所、多治見市文化工房ギャラリーヴォイス、(株)ヤマセ、桃陵中学校、合同会社ノマグレ

[異業種・その他]

(株)アスカデザインプロダクツ

奨励金・補助金制度について

修了生雇用・定住促進奨励金

多治見市内の陶磁器関連企業に正規雇用された修了生と、雇用した事業所に、それぞれ30万円の奨励金を交付します。

修了生創作活動支援補助金(最大24万円)

多治見市内に住居と創作活動拠点をもち、創作活動をする修了生に1年間の家賃・工房使用料の一部補助を実施します。

募集内容

デザインコース・技術コース（第68期生）

1. 研修期間 … 2年間

2. 定員

デザインコース・技術コース ~~20人~~ ※二次募集募集定員 5人

*定員に満たない人数を二次募集します。二次募集の募集人数は1月初旬頃に当所のホームページに掲載します。

3. 入所資格

- (1) 年齢満18歳以上満30歳以下の者（1994年4月2日から2007年4月1日までに出生の者）
- (2) 高等学校卒業若しくは卒業見込みの者又は高等学校を卒業した者と同等程度の知識及び技能があると認められる者
- (3) 養成科目に関する業務に従事し、又は従事しようとする者
- (4) 品行方正であって、研究に熱意を有する者

セラミックスラボ（第23期生） [通常選考]

1. 研修期間 … 1年間

（ただし、市長が特に適当と認めた者は、引き続き1年を上限として延長することができる。）

2. 定員 … ~~3人程度~~ ※今年度はセラミックスラボの二次募集を行いません。

3. 入所資格

- (1) 年齢満20歳以上満40歳以下の者（1984年4月2日から2005年4月1日までに出生の者）
- (2) デザインコースを修了した者又は技術コースを修了した者若しくはこれらの者と同等程度の知識及び技能があると認められる者
- (3) 養成科目に関する業務に従事し、又は従事しようとする者
- (4) 品行方正であって、研究に熱意を有する者

*セラミックスラボは通常選考以外に、外国籍の方を対象とした外国人特別選考があります。

*外国人特別選考受験希望者は、外国人特別選考／募集要項を参照して下さい。

研修費

1. 実習料 … 220,000円（年額）

2. 入所料 … 62,500円

*一旦納入された実習料及び入所料は返金できません。

*当所のデザインコース又は技術コースを修了した者が引き続きセラミックスラボに入所する場合は入所料を免除します。

3. 教材費 … 30,000円程度（実費） *各自で購入する道具類やテキスト等の費用です。

Training fees



受験方法・募集日程 Timeline

1. 募集期間

一次募集…2024年10月11日(金)～10月28日(月)

二次募集…2025年1月24日(金)～2月10日(月)

- *一次募集受験者がその年度の二次募集を受験することも可能です。
- *上記募集期間以外にも臨時募集を実施する場合があります。

2. 出願書類

- (1) 入所願書 *当所所定のもの。現住所欄には受験票を受領できる住所を記入して下さい。
- (2) 卒業証明書又は卒業見込証明書 *最終学校長が作成したもの。
- (3) 成績証明書 *最終学校長が作成したもの。
- (4) 健康診断書
*当所所定の様式、または同一検査項目を記載する医療機関発行のもので、2024年4月以降に受診し発行されたもの。
*一次募集受験者がその年度の二次募集を受験する場合は、上記(2)、(3)、(4)の書類の提出は免除となります。
- (5) 写真 *縦4cm×横3cm、上半身、脱帽、正面、背景無地で出願日より3ヶ月以内に撮影したものを入所願書に貼付。
- (6) 書類審査提出書類
*内容は下記5.試験内容の(1)デザインコース・技術コース、③書類審査の(ア)を参照して下さい。
(2)セラミックスラボ[通常選考]、②書類審査の(ア)、(イ)、(ウ)を参照して下さい。

3. 出願方法

◎WEB出願

上記の出願書類をPDFデータ化し、締切日午後5時までに専用フォームより提出して下さい。

出願後入所考査料の振込先をメールでお伝えします。

入所考査料入金の確認後、出願受付完了となります。

*一旦納入された入所考査料は返金できません。二重に振り込むことが無いよう注意してください。

◎郵送による出願

上記の出願書類と入所考査料(5,500円)を14cm×21cmの現金書留封筒に同封の上、締切日必着で宛先に郵送して下さい。

[宛先] 多治見市陶磁器意匠研究所 人財育成グループ

〒507-0803 岐阜県多治見市美坂町2丁目77番地

*定額小為替や郵便為替類は受け付けません。 *一旦納入された入所考査料は返金できません。

4. 試験日

一次募集…2024年11月10日(日) 午前9時開始

二次募集…2025年2月23日(日) 午前9時開始

*試験開始時間については、受験票で詳細を確認して下さい。

*入所願書受領後に受験票を郵送します。試験当日に受験票を必ず持参して下さい。

5. 試験内容

(1) デザインコース・技術コース

- ① 学力試験…時間50分 基礎的な学力を問う筆記試験 *筆記用具を持参すること。
- ② 面接試験…時間1人15分程度 *自己の作品集(ポートフォリオ)があれば持参し、面接試験で提示して下さい。
- ③ 書類審査…事前提出
(ア) 小論文…「陶磁器意匠研究所を志望した動機」と「陶磁器を選んだ理由について」
*フォントサイズ11pで両テーマをA4サイズ片面刷り1枚に日本語でまとめたもの。1行目に氏名を記載し、各本文の始めに「陶磁器意匠研究所を志望した動機」、「陶磁器を選んだ理由について」と記載して下さい。

(2) セラミックスラボ[通常選考] ※今年度はセラミックスラボの二次募集を行いません。

- ① 面接試験…時間1人15分程度
- ② 書類審査…事前提出
(ア) 小論文…「自身の制作姿勢について」と「陶磁器意匠研究所で取り組む研究テーマ」
*フォントサイズ11pで両テーマをA4サイズ両面刷り1枚に日本語でまとめたもの。1行目に氏名を記載し、各本文の始めに「自身の制作姿勢について」、「陶磁器意匠研究所で取り組むテーマ」と記載して下さい。
(イ) 作品写真一覧 *当所所定の様式
(ウ) 作品写真5作品(1作品につき3カット)

6. 合格発表

一次募集… ~~2024年11月22日(金) 午前9時発表~~

二次募集… 2025年 3月 7日(金) 午前9時発表

*当所玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者全員に郵送で結果を通知します。

電話、ファックス、メール等による合否の問い合わせには一切お答えできません。

7. 入所手続き

入所式は4月上旬を予定しています。入所手続きの方法は考査結果と併せて合格者に通知します。

Event Information

多治見市陶磁器意匠研究所 卒業制作展2025

2025年2月7日(金)～2月24日(月祝)

入場無料 休廊日/水曜日

■多治見市文化工房 ギャラリーヴォイス 10:00～18:00

■山の花/新町ビル 11:00～18:00

研究生在廊日：2月7日(金)、8日(土)、9日(日)

【会場】

■多治見市文化工房ギャラリーヴォイス

〒507-0033 岐阜県多治見市本町 5-9-1 陶都創造館 3階

Tel. 0572-23-9901 <https://gallery-voice.jp/>

■山の花/新町ビル

〒507-0831 岐阜県多治見市新町 1-2-8 新町ビル1・2・3階

<https://yama-no-hana.com>

多治見市陶磁器意匠研究所 進級制作展 2025

2024年3月7日(金)～3月31日(月)

【会場】 多治見市陶磁器意匠研究所

時間 9:00～17:00

※入場無料(土日祝日は休館)

ishoken  

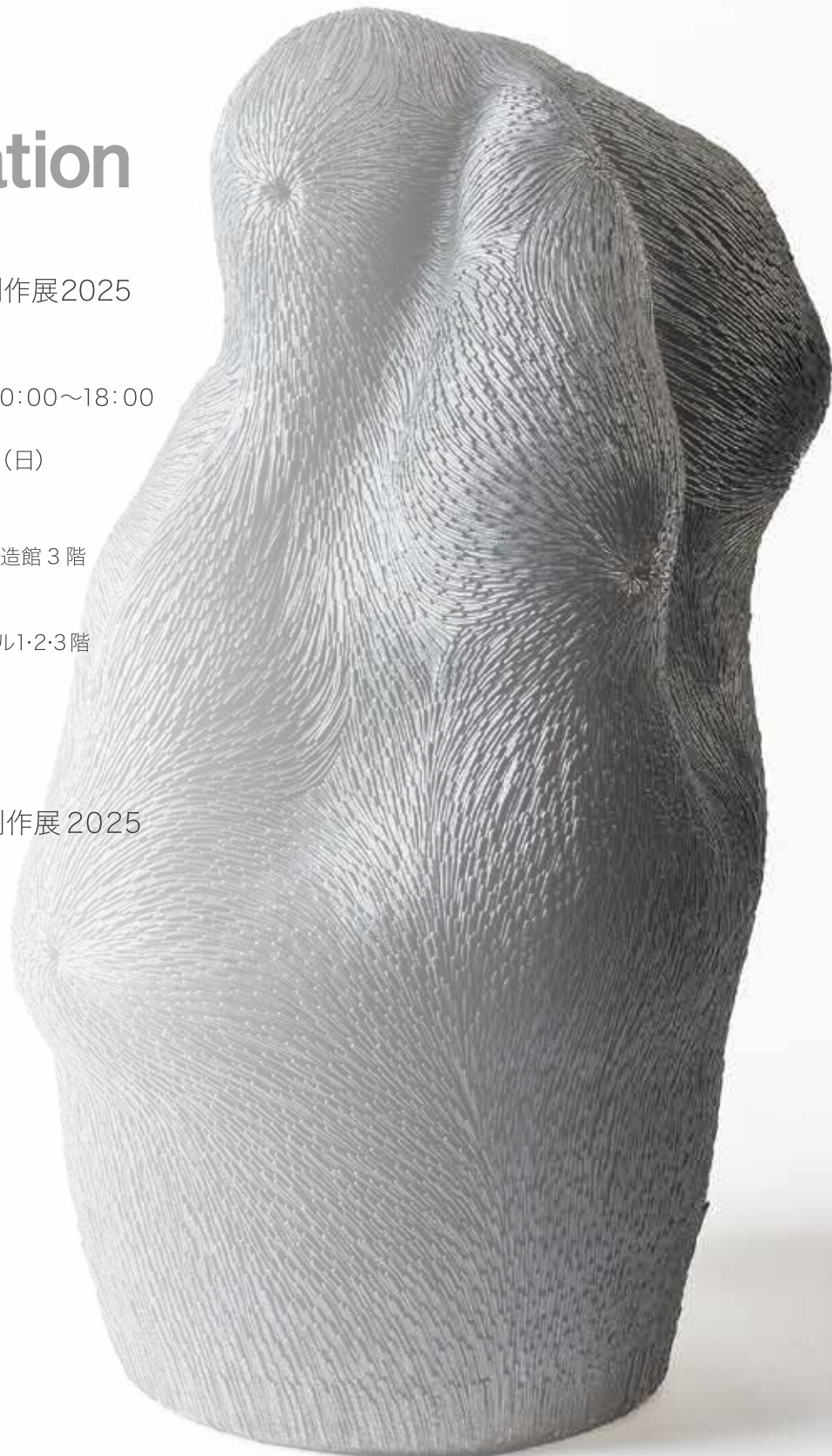
多治見市陶磁器意匠研究所

507-0803 岐阜県多治見市美坂町 2-77

Tel.0572-22-4731 Fax.0572-25-0983

Email ishoken-jinzai@city.tajimi.lg.jp

<https://www.city.tajimi.lg.jp/ishoken/>



Work by Takahashi Aoi